

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス YELL

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025

年

3

月

2日

法人（事業所）理念		子供たちに自信を持たせる 安心して過ごせる居場所 子供たち一人ひとりの可能性を引き出し療育							
支援方針		今の困りごとの解決と将来の自立と社会参加を目指し、子供たち一人ひとりの夢と希望の持てる未来に繋げていく支援をしていきます 本人の理解や発達段階に合わせ、生活に必要なスキルの獲得、向上ができるように支援していく。また他のお友達との交流を増やし、相手の気持ちが適切に表出できるように文字や視覚的なカードを使い支援していく。							
営業時間		9時	30分	から	18時	30分	まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	生活に必要な基本的技能を獲得する。食事・排泄・衣類の着脱・身の回りのことができるように支援する。生活の中で音・色・手触り・動きなどに気付いたりするなどして楽しむ。音楽に親しみ簡単なリズム楽器を使ったりするなどして演奏する楽しさを感じる。工作で作ったりすることを楽しみ遊びに使ったり飾ったりする。							
	運動・感覚	色々な遊びの中で体を動かす活動を取り入れている。運動プログラムを取り入れ敏捷性や体幹が整うよう支援する。また指先のトレーニングの為にタイピングも取り入れる。工作・手芸では折り紙を折ったり、ハサミで切ったり、テープ・糊・ボンドを使って貼ったり、縫物などをする。ビジョントレーニングは毎日来所したらすぐにやり自分で数値を記入する。							
	認知・行動	来所したら時間帯別活動のタイムテーブルを自分で作り時間の流れを把握できるよう支援する。スライムをみんなで作って絵の具で自分の好きな色を選んで混ぜ、物質の変化や感触を楽しむ。物の形や大きさ・重さ・色の違いなどの習得の為に支援を行う。小集団でのカードゲームや色んなゲームでの適切な行動が取れるよう支援する。認知の特性を踏まえ自分に入ってくる情報を適切に処理できるように支援する。そのためには子供の特性による認知の偏り、こだわりなどに対する個別支援を行う。							
	言語 コミュニケーション	始まりの会で天気・日時・友達・先生の確認、終わりの会で今日の活動の振り返りと楽しかったことなどを発表する。ルールや順番などを絵や絵カードを使って視覚化する。言葉によるコミュニケーションだけでなく表情や身振り手振り・各種の機器（パソコン・タブレット）等を用いて意思のやり取りが行えるように支援する。							
	人間関係 社会性	遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する。集団に参加するための手順やルールを理解しみんなと一緒に色々な活動に取り組めるよう支援する。							
家族支援		家庭内の様子とデイでの様子を情報共有していく。 延長サービス			移行支援		必要に応じて学校や他事業所など他機関と連携し、対応していく。		
地域支援・地域連携		必要に応じて関係機関と情報を交換・共有し生活や支援に関する提案をしていく。 近隣のコンビニ等へ買い物 近くの公園に行き、地域児童とも遊ぶ 祭りを通して地域との交流会			職員の質の向上		事業所内での会議や振り返り実施。 定期的な研修 毎日のミーティングによる情報共有 各種委員会の設置		
主な行事等		季節の創作活動、季節ごとの行事、避難訓練（年2回）							